

令和7年度上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会 議	部会名 第1回 権利擁護部会	日 時 令和 7年 6月 12日(木) 13:30 ~ 15:30
	会場 伊那市福祉まちづくりセンター 3階 第1, 2研修室	参加者数 42人
主 テ ー マ	① 開会・挨拶 ② 昨年度の活動報告、今年度の活動計画について ③ 講義「地域防災について考えられること」 ④ グループワーク ~それぞれの立場で考えられること~ ⑤ その他	
① 開会・挨拶 部会長挨拶 ② 昨年度の活動報告、今年度の活動計画について ③ 講義「地域防災について考えられること」 ④ グループワーク ~それぞれの立場で考えられること~ ・事業所 BCP を持ち寄り、近隣の地域ごと6グループに分かれて意見交換を行った。 ・各グループごと感想発表(一部) GHだと1人で対応しなくてはならない不安ある。 通所型小規模事業所では BCP のひな型は使いづらさあった。 障がいのある方の避難訓練参加の方法や情報伝達、安否確認の課題を改めて感じた。 BCP も事業所と行政で協働して作成したら良いものが出来上がると思った。 業務を継続するため、職員が困らないように考えることも必要。 地域の連携の難しさがある。事業所間連携も必要だが、物資など、どこまで共有できるか。 普段、顔を合わせることがない方々との意見や話をする機会は、これからの業務に活かせるものとなった。 ・その他 (事前にいただいた質問についての回答) Q. 「一般市民の所有する建物が開放され常日頃から利用しており、所有者がいざというときは使ってもらって構わないと福祉避難所としての利用を承諾いただいている場合、市町村の福祉避難所として登録してもらえるのか?また、上伊那で一般住宅を福祉避難所として行政に登録された事例があれば教えてほしい。」 A. ・一般住宅を福祉避難所として登録した例はなし。住民向け災害用アンケートの中では福祉避難所へ行けない方が駐車場で過ごす想定 of 回答もあった。本人が過ごしやすい所で過ごせる方がいいとは思いますが、課題として考えていきたい。 ・福祉避難所と協定を結んでいる事業所が各市町村にある。 ・とても参考になる意見だった。オフィシャルな場所ではなく安全が取れば在宅避難も推奨したい。 ・臨機応変に考えていきたい。今回の質問については防災関係部署へ伝達していく。		
ま と め	災害用 BCP について、講義と合わせて事業所が持ち寄る現物を実際に見ながら気付きが持てる機会となった。普段事業所が感じている災害時の疑問や不安が共有出来、行政と事業所が協力体制を取るための大事な機会が持てた。	
次 回	●第2回:令和7年9月 25 日(木) 13:30~ 場所 まちづくりセンター(相談支援専門員連絡会との共同開催) ●第3回:令和8年2月 19 日(木) 13:30~ 場所 まちづくりセンター	